

かどうせきかいらんばん 可動堰回覧板

平成24年2月1日号 (No.79)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

今回は1月から始まった河道掘削の様子などをお知らせします。

新可動堰上流部の掘削が始まりました

昨年11月23日に通水を向かえた新可動堰工事現場では、新可動堰を通した大河津分水のスムーズな流れを確保するため、新たに水路となった部分に通水前から堆積している土砂の撤去を行っています。

まずは旧可動堰横に堆積している土砂について、昨年末までに樹木を伐採すると共に、水上での作業場となる台船の組立を行いました。1月からは、台船に乗せたバックホウで土砂を掘削して別の土砂運搬船に積み込み、新たな水路で河底が深く掘れてしまっている部分に埋め、スムーズな流れとなるように河底の凹凸を滑らかにする作業が始まっています。この部分の土砂撤去が終わった後、春頃からは更に上流に残る大きな中洲の撤去が始まります。



春以降掘削予定

H23.12.14撮影



左岸側にて組み立てた台船にバックホウを乗せた様子です。



台船上でバックホウを操作し、流れを阻害する部分の土砂を掘削します。



掘削土砂は別の土砂運搬船で運び出します。

若手現場技術者からのメッセージ



(株)新潟藤田組 田中英明

皆様、寒い中ごくろうさまです。(株)新潟藤田組の田中です。

私は、船を運転する仕事をしています。今回の仕事は主にバックホウ台船で河道掘削した土砂を台船で曳航することですが、まだまだ勉強中です。

私はいつも船舶の仕事をするときに注意していることがあります。それは天候の確認です。冬の時期は、特に急な強風や吹雪などで河川の状況が一気に変わることがあるからです。天候の悪い日は、空模様をよく見て仕事ができるかどうかを判断しています。

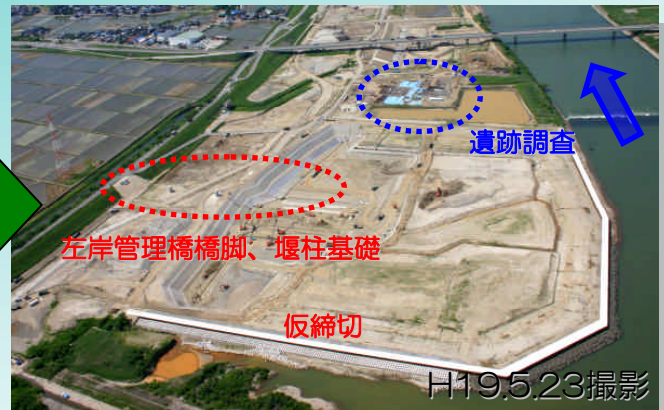
それから、一緒に仕事をしている人たちとのコミュニケーションを大切にしています。毎日のATKYミーティング（安全点検確認・危険予知）をしっかり行えば無災害で仕事を終わることができると思っています。これからも安全第一で仕事に頑張りたいと思います。

可動堰改築工事を振り返って（１）

今月から数回に分けて、通水までの可動堰改築工事を振り返ってみたいと思います。今月紹介するのは、工事が始まったばかりの平成18年と、仮締切ができた平成19年の工事現場の様子です。



一部で掘削工事が始まっていますが、新可動堰は影も形もありません。写真下方には通水前に撤去された旧固定堰が見えます。現在新可動堰がある部分は、かつては広い高水敷（普段水の流れない部分）でした。



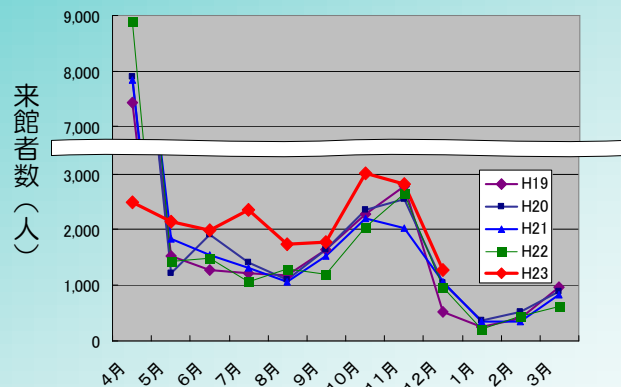
仮締切が完成し、可動堰本体部分の工事が始まりました。左岸管理橋の橋脚ができ、左岸側の堰柱の基礎工事が進行しています。下流側では遺跡調査を実施中です。

平成23年度の信濃川大河津資料館について

新可動堰の本体部完成・通水や、7月の新潟・福島豪雨による防災意識の高まりによるものでしょうか、平成23年度の信濃川大河津資料館の来館者数は例年を大幅に上回っている状況です。東日本大震災のためにおいらん道中が中止となったため、4月は例年より大幅に来館者数が落ち込みました。しかしそれ以外ほぼ全ての月で近年では最多の来館者数を記録し、7月と12月ではそれぞれ昭和59年の開館以来の最多記録を更新しました。

信濃川大河津資料館を校外学習の場として利用する小中学校も多く、今年度は新潟県内延べ70以上の小中学校から見学者が訪れました。児童・生徒達は資料館内部の展示等を学習するだけでなく、日増しに完成へと近づいていった新可動堰工事現場も見学し、熱心にメモをとったり担当者を質問攻めにしたりと積極的に学習する様子が見られました。

「資料館が近所にあることは知っているが、いつてみたことはない」という方も意外に多いのではないのでしょうか。休日のお出かけ先の候補として如何でしょうか？身近な大河津分水の歴史について新しい発見があるかもしれません。



近年の月別信濃川大河津資料館来館者数



9月21日 新潟市立万代長嶺小学校6年生の皆様の見学時の様子



大河津可動堰情報館ホームページから、毎月1日には可動堰回覧板の最新号をご覧ください。また、バックナンバーも合わせてご覧ください。アドレスは「<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>」です。『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。
0258-32-3134（平日AM9:00~PM4:00）

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121(建設監督官在所)
大河津出張所 :大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等
建設監督官(可動堰改築担当):大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

大河津可動堰情報館
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>

信濃川大河津資料館
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/index.html>